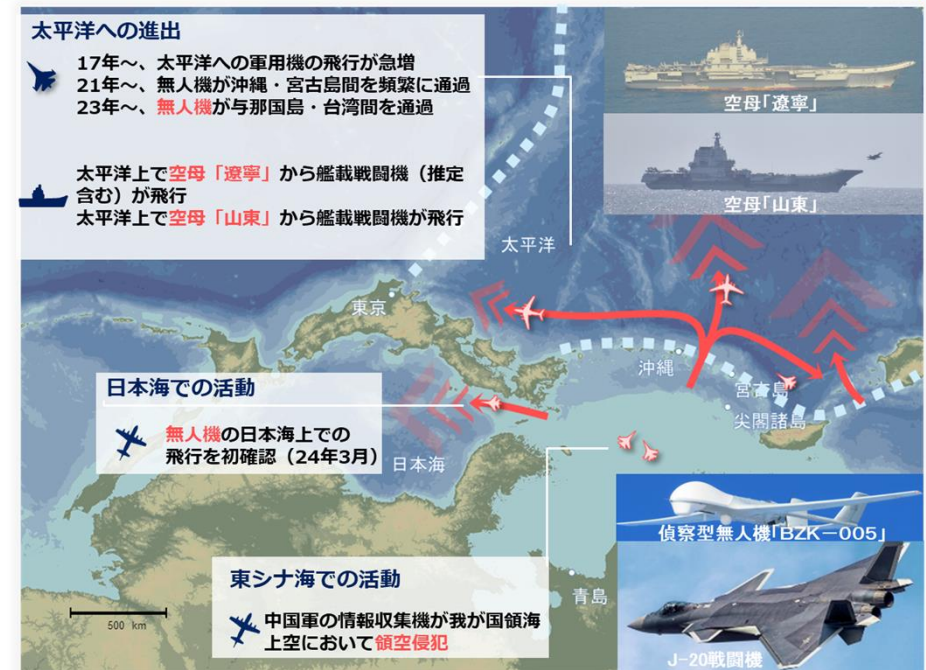


航空自衛隊美保基地における空中給油・輸送機 (KC-46A)の配備について

令和7年3月
中国四国防衛局

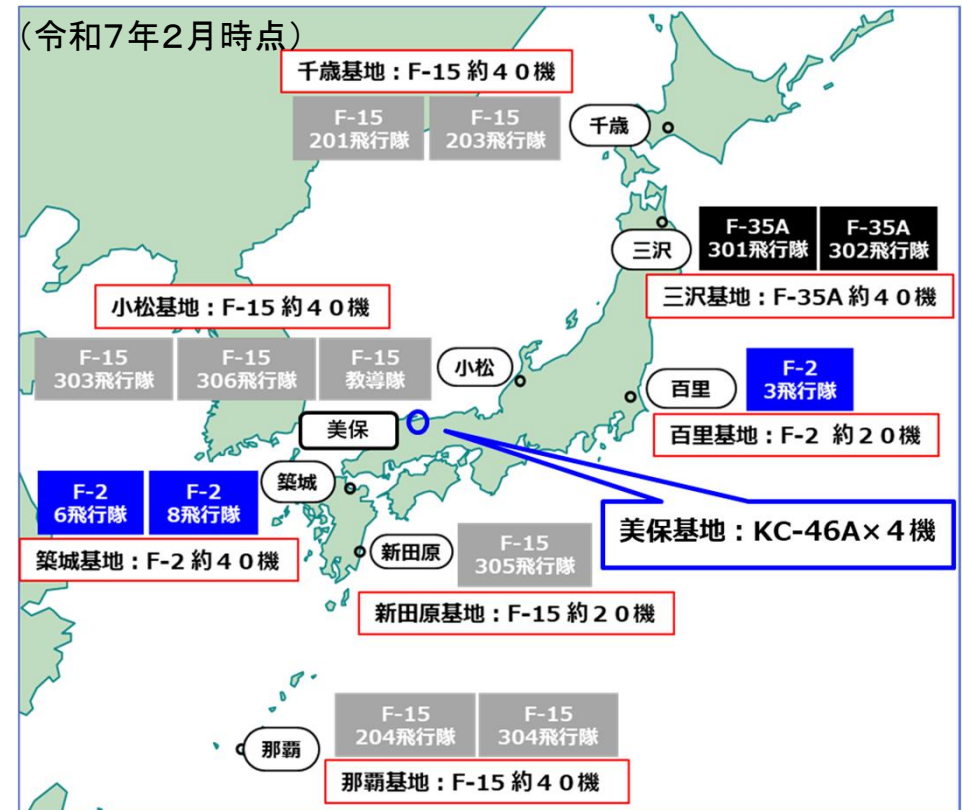
空中給油・輸送機を増機する理由

- 空中給油・輸送機KC-46Aについては、これまで、平成25年及び平成30年に閣議決定された中期防衛力整備計画において、計6機の整備が計画され、これに基づき6機を取得してきました。
- 現防衛力整備計画において、周辺国が航空戦力を増強する中、我が国の防空体制に万全を期すため、戦闘機部隊を増勢することとしているところ、それらが我が国周辺空域等で高烈度化する各種航空作戦において粘り強く戦闘を継続するには、空中給油・輸送機の増勢が必要です。
- このため、令和7年度予算案ではKC-46Aを4機取得する経費を要求しています。



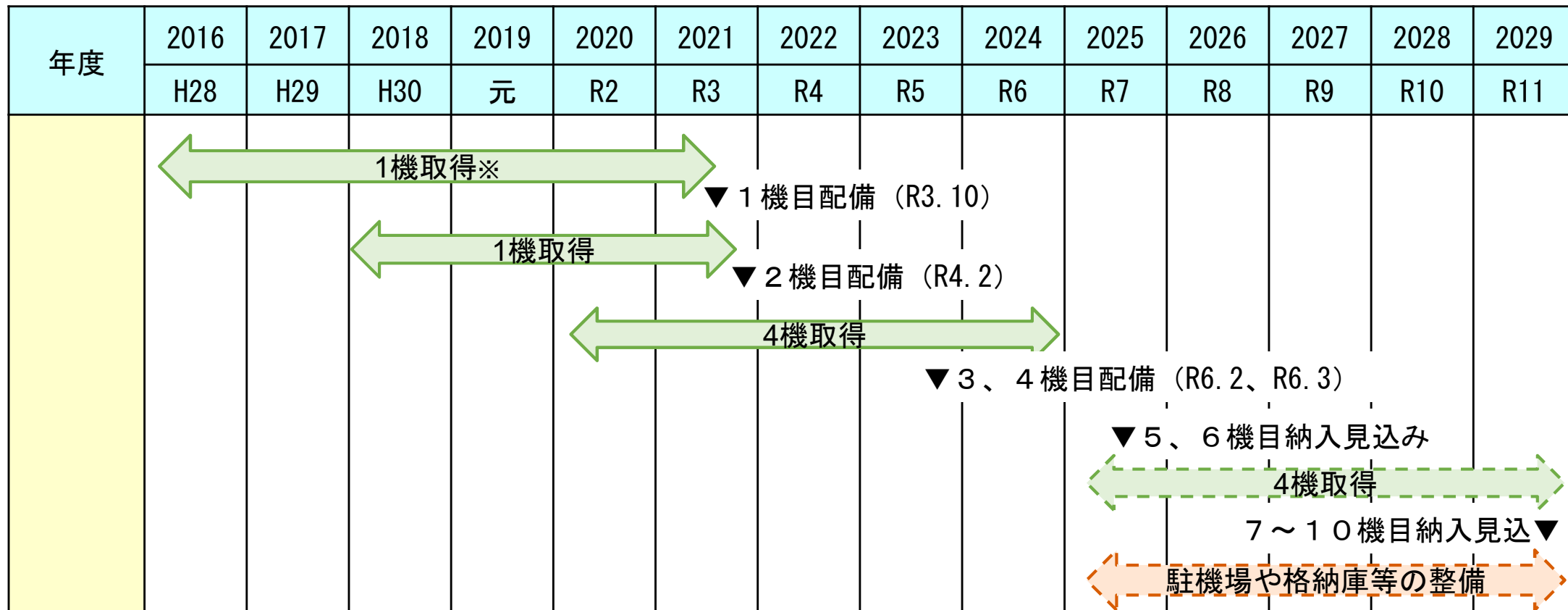
増機する空中給油・輸送機を美保基地に配備する理由

- これまでに美保基地に配備するためKC-46Aを6機取得（4機を既に配備済み）しているところ、令和7年度に新たに要求する4機の配備先についても、
- ・ 戦闘機による我が国防空任務の支援のため、必要な空域全般への進出について有利な位置にあり、所要の給油能力を発揮できる
 - ・ 増勢する4機の運用に必要な施設整備の地積を基地内に確保できる
- といった観点から、美保基地にすることを考えています。



KC-46Aの美保基地への配備スケジュール

- 令和7年度に要求する4機については、令和11年度中に配備する考えです。これら4機の配備により、**美保基地には10機のKC-46Aが配備**されることとなり、現時点では、**これをもって美保基地へのKC-46Aの配備は完了となる予定**です。
- KC-46A増勢に伴う施設整備については、令和7年度に駐機場や格納庫等の整備に着手する計画です。
- なお、令和6年度には2機配備予定でしたが、製造企業（米国・ボーイング社）における大規模なストライキ等による納入遅延により、令和7年度の配備となる見込みです。



※ H28予算には機体の構成品費等を計上し、H29予算に1機目の取得経費を計上。